

## 台風 0613 号による強風被害について Strong Wind Damage by Typhoon 0613

○ 丸山 敬・河井宏允・石川裕彦・林 泰一・加茂正人  
○ Takashi Maruyama, Hiromasa Kawai, Hirohiko Ishikawa, Taiichi Hayashi, Masato Kamo

Typhoon 0613 struck Yaeyama Islands and Kyusyu, Japan, on September 16 and 17, 2006. There was a maximum peak gust of 69.9 m/s which was the strongest wind ever recorded in Iriomote Island. In Kyusyu, there were many damage to houses and buildings especially in Nagasaki, Saga and Hukuoka prefectures. There were also a number of strong wind damage struck by Tatumaki or strong wind gust in Myazaki and Ooita prefectures. We summarized these strong wind damages.

### 1. はじめに

2006年9月10日にフィリピンの東海上で発生した台風第13号は、15日には中心気圧が930hPa、中心付近の最大風速が50m/sまで発達し、八重山諸島を暴風域に巻き込みながら北よりに進み、16日05時には最低海面気圧923.8hPaを観測した。その後、速度を速めながら北東へ進み、17日夕方には九州北部地方を通過して日本海へと進んだ。台風の中心が通過した石垣島地方では猛烈な風が吹き、西表島の竹富町上原では、16日04時22分に観測史上最も強い最大瞬間風速69.9m/s(北東)を観測した。また、石垣市登野城でも16日07時19分に最大瞬間風速67.0m/s(西南西)を観測した。八重山諸島ではこの台風に伴う強風により大きな被害が発生し、停電などにより住民の生活に大きな支障をきたした。さらに、九州各地にも強風被害をもたらし、長崎県、佐賀県、福岡県で多くの住家被害が発生した。一方、宮崎県では日南市、宮崎市、日向市、延岡市で、大分県では臼杵市、大分市で竜巻や突風によると見られる強風被害により局地的な被害が生じ、全体の被害件数は上記三県に比べて少ないものの、全壊、半壊等、程度の大きな被害が多く発生した。とくに、宮崎県延岡市では、死者3名、重傷3名、軽傷140名の被害者をだし、日豊本線で特急「にちりん9号」が脱線するなど、日本における竜巻被害としては最大級の被害が発生した。防災研究所、気象・水象災害部門、流域災害研究センターではこれらのうち、石垣島、延岡市および、大分県大分市馬場地区、臼杵市佐志生地区の被害調査を行い、現地調査や関係諸機関から集めた資料をもとに、被害の特性および発生後の被害の復旧状況等につい

てまとめた。本報ではその概要を報告する。

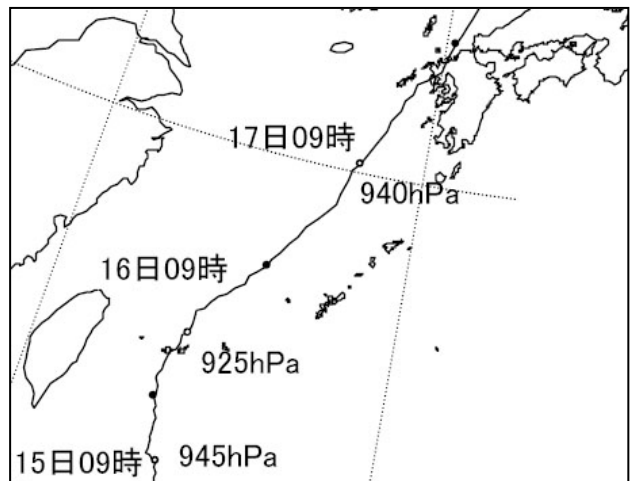
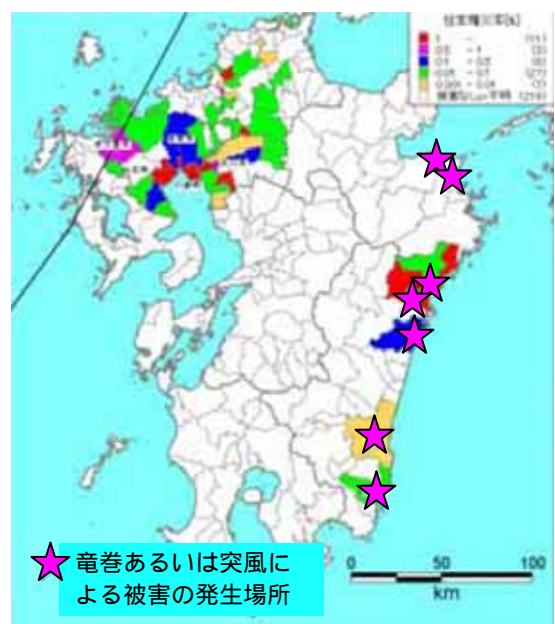


図1 台風第0613号の進路



★ 竜巻あるいは突風による被害の発生場所

図2 九州における市町村別住家罹災率

(台風0613号による風災被害調査報告、損害保険率算出機構より)

